

Ⅲ 補修を行うために知っておきたいこと

図書資料の各部名称



本の背の様式



フレキシブルバック
ページの開きは良いが、
壊れやすい



タイトバック
ページの開きは悪いが、
丈夫。

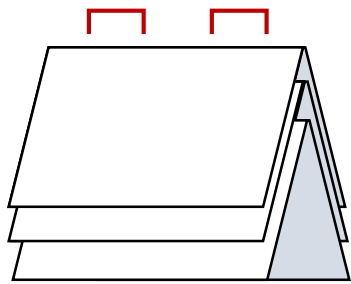


ホローバック
ページの開きは良いが、のど
の部分が壊れやすい。

上製本・並製本の主な違い（見分け方）

本の仕様	上製本	並製本
綴じ	糸・あじろ	糸・あじろ・針金・無線
見返し	つける	つけないものあり
表紙（芯紙）	あり	なし
表紙貼り	あり	なし
表紙の大きさ（チリ）	あり（中身より大きい）	なし（中身と同じ寸法）
見返し貼り	全面ベタ糊	全面または小口糊

本の綴じ方の種類と破損の傾向

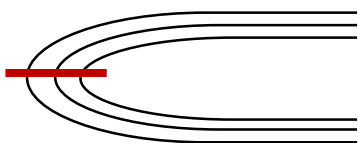


中綴じ

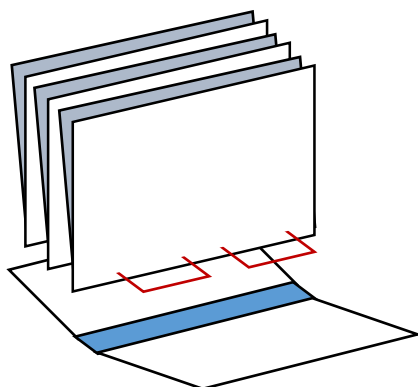
二つ折りにした紙の折目の部分を針金で留めます。本のノドいっぱいまで開くことができます。

用途例

週刊誌
家電品の取り扱い説明書
小冊子
パンフレット 等



針金が錆びて紙を傷める
表紙が外れやすい

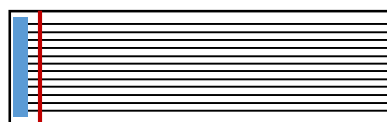


平綴じ

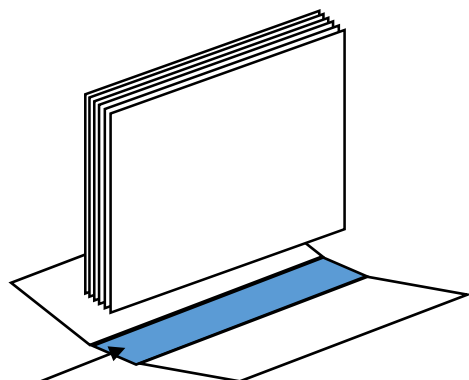
ノドの近くを側面から針金で綴じする方法。本のノドいっぱいまで開くことができません

用途例

少年週刊誌
教科書
報告書 等



針金が錆びて紙を傷める
のどを無理やり開くことに起因する破れ

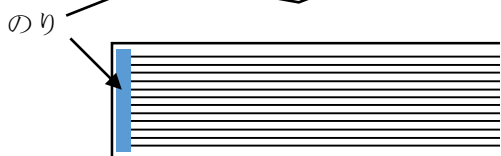


無線綴じ

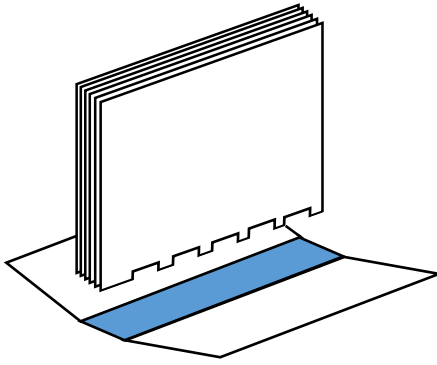
針金や糸を用いず、本の背を接着剤で固める綴じ方。表紙も中本の背に塗られた接着剤の効果で中本と接合されます

用途例

文庫本
雑誌
カタログ 等



のどが割れやすい
ページが外れやすい
接着剤が劣化し、バラバラになる

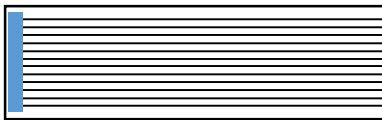


あじろ綴じ

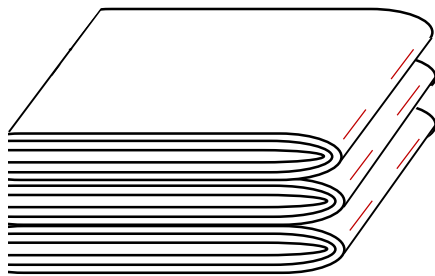
折丁の背の部分に切り込みを入れ、そこから糊を浸透させて表紙と接合する綴じ方。

用途例

写真集
一般書籍 等



のどが割れやすい
折丁の中心からページが外れる
接着剤が劣化し、バラバラになる

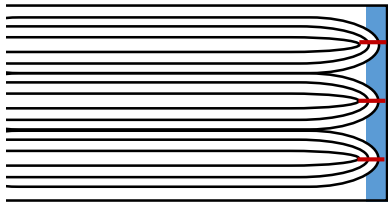


かがり綴じ（糸綴じ）

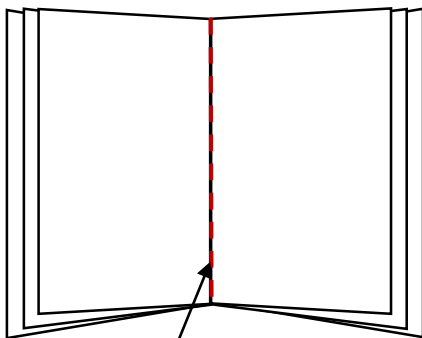
折丁を糸で綴じ合わせ、背をかがって接着剤で表紙と接合する綴じ方。

用途例

百科事典
一般書籍 等



のどが割れたり、緩んだりしやすい
背が壊れやすい
糊が劣化すると糸が緩む



ミシン綴じ（中ミシン綴じ）

1冊の見開きの中央をミシン糸で綴じする方法。
本縫い式ミシンや、下糸を使わない仮縫い式ミシン、パスポートなどに使われる二重式ミシンなどがある

用途例

絵本
ノート 等

ミシン目

糸が切れるとバラバラになる

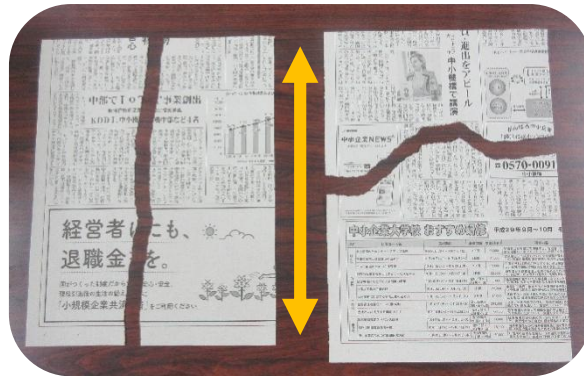
紙の目

紙は、抄紙機（紙を抄く機械）でパルプを一定方向に流しながら製造されます。

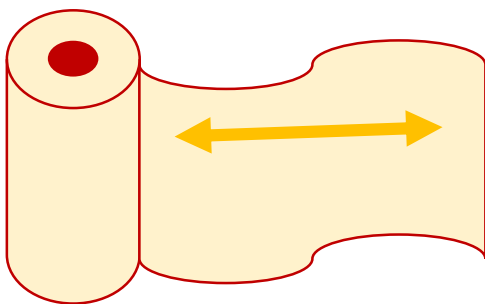
そのため、進行方向に繊維が揃いやすく「紙の流れ目」ができます。できた流れ目を、紙の目と言っています。

紙の目を確認する方法

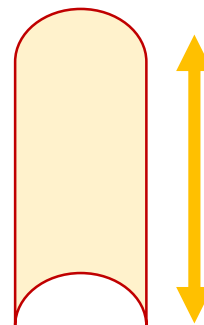
紙を裂いて比較的真っ直ぐに裂ける方向が縦目



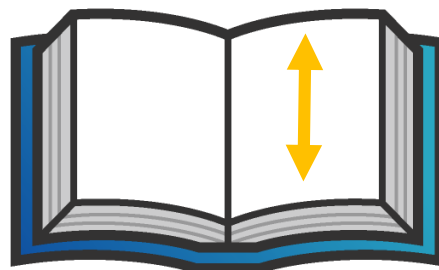
一般的に巻いてある方向が縦目



濡れた時、目と並行にカールする



本は一般的に開きやすいように縦目で作られています。



縦目で作られていない資料は、開きが悪く壊れやすいからです。

補修で紙を使用する場合は、基本的に紙の目を揃えます。